

# 雲丹の活動日記

## 今月の雲丹（うんたん）の活動

### 漁村歌舞伎にあわせて道南の観光・まちおこし関係者との交流

漁村歌舞伎の上演に合わせて、北海道・道南地方の観光・まちおこし関係者にお越しいただき、交流を行いました。

1日目は歌舞伎の鑑賞、2日目はまちあるきを行って佐井村を知っていただきました。雲丹（うんたん）は、この交流の最後に行われた意見交換会に参加しました。参加者からの貴重な意見を聞き、開業まで2年と迫った新幹線・新青森～新函館（仮称）間の新たな交通経路のことも踏まえ、道南エリアとも積極的に連携して地域振興を図っていきたいと感じました。



参加者の意見・感想を聞く雲丹（うんたん）

### <あおい環プロジェクト事務局（地域おこし協力隊）からのお知らせ>

#### ・漁村歌舞伎鑑賞ツアーを実施しました

3月16日（日）に、佐井村の漁村歌舞伎を鑑賞するツアーを実施しました。

この日は、午後1時30分から福浦の歌舞伎、午後4時から矢越芸能保存会の新派劇を上演しました。観客は普段なかなかみる機会のない芸能を満喫していました。

また、ツアーの昼食として、「活〆神経抜き定食」を提供しました。これは、現在、漁協で付加価値の向上のために行っている活〆神経抜きの処理をPRするための企画で、神経抜きによって熟成される魚の味の微妙な違いを楽しんでもらうというものです。今回のお客様の反応を見ながら、今後も提供できるかを検討していく予定です。



活〆神経抜き定食を堪能する  
横山ひできさん

#### ・夕陽フォトコンテスト

佐井村のきれいな夕陽の写真を集めた「佐井村夕陽フォトコンテスト」が、現在巡回展示と人気投票を行っています。

3月19日（水）～4月7日（月） 青森市・青森県総合社会教育センター（県立図書館のとなり）

## 今月のアピオス

アピオスが特産品と言って、佐井村のアピオスは何が違うのか。

下北のアピオスは「大きく、甘い」という特徴があり、他産地よりも「おいしい」という自信を持っています。

アピオスは、収穫してすぐ食べると、まったく甘みはありません。しかし、下北の寒さの中に置いて「寒ざらし」をすると、その寒さに耐えるために糖分が生まれ、甘くなります。

そうして出荷しているので、甘いアピオスになります。佐井の人は佐井のアピオスしか食べないので違いを知る機会がないと思いますが、実はそうなんですよ！



ほくほくなアピオス